



こどもクリニックニュース

NO. 112 平成21年4月1日発行

今月から、水曜日は「一日休診」です！！

平成21年4月1日より、毎週水曜日は午前中の診療も中止して丸一日を休診とさせていただきます。その代わりに、4月以降は一部の休日の午前中に診療いたします。

年内の休日診療は今のところ下記のように計画しています。なおこれは、あくまで現時点での予定ですが、**7月まではほぼ「確定」**です。この地域の医療事情や冬季の休日診療とのかね合い等で今後変更することがあるかもしれません。最新情報はこのクリニックニュースやホームページでご確認ください。携帯用ホームページでもご覧いただけます。

休日の診療予定表

4月	29日	(水)	昭和の日
5月	6日	(水)	振替休日
7月	20日	(月)	海の日
9月	23日	(水)	秋分の日
10月	12日	(月)	体育の日
11月	3日	(火)	文化の日
	23日	(月)	勤労感謝の日
12月	23日	(水)	天皇誕生日

診療受付 8:30～、診療時間 9:00～12:00

当院で診療を受けたお子様が、その後に症状が変わったために他の医療機関を受診される場合、毎回お渡ししている診療記録(カルテ)を持参されることをお勧めします。その中には当院を受診された時の経過や症状、私の診察所見、診断名、および薬の処方内容など、すべての医療情報が記載されていますので、他の先生がお子様を診療される時に参考になると思います。過去のすべてのカルテをファイルなどにまとめておくと、さらに便利だと思います。

その他の休診の予定

4月17日(金)、18日(土)も休診とさせていただきます。

院長の予定 (2009年5月まで)

4月	3日	(金)	3ヶ月健診	保健センター
	8日	(水)	2才健診	保健センター
5月	26日	(火)	ポリオ	保健センター
	27日	(水)	内科健診	水深小

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。もちろん水曜日は一日休診です。



感染症の情報

インフルエンザは、A型を主体とした流行が1月末から2月上旬に一旦ピークを迎え、その後は比較的少ない状況が続いていましたが、3月になって再度B型による流行が起きました。その後は学校・幼稚園の春休みが始まり、今シーズンのインフルエンザの流行は終息するものと思われます。ただし昨年は5月に一部の学校で流行が起きました。まだまだ油断しないでください。

その他の感染症では、この地域では流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の流行が目立ちます。3月に複数の保育所や学校などで大きな流行が見られました。流行性耳下腺炎のウィルスの潜伏期間(うつされてから症状が出るまでの期間)は2～3週間程度とかなり長いため、集団生活の場で流行が終わるまでには数カ月を要することが多いのです。この病気はワクチンで予防(もしくは軽く済ませること)が可能ですので、是非受けておいたほうが良いと考えます。

それ以外では感染性胃腸炎、溶連菌感染症、水痘も目立ちます。

ワクチンの話・いろいろ ②

① BCGワクチン・・・個別接種に

加須市にお住まいのお子様のBCGワクチン接種は、今までは毎月1回、保健センターでの「集団接種」でしたが、今年の4月からは、かかりつけの医療機関での「個別接種」になりました。おそらく近隣の市町村も同様だと思われます。公費でワクチン接種を受けることのできる年齢は今まで通り「生後6ヶ月未満」です。

私は、赤ちゃんが生まれたらできるだけ早く（遅くとも生後2ヶ月に達するまえに）接種することをおすすめしています。その理由は、生後3ヶ月になったら「三種混合ワクチン」接種を始めて欲しいので、それに間に合うようにBCG接種を終わらせてほしいのです。

② ヒブワクチン・・・品不足です

新聞やテレビなどで報道されていますように、乳幼児の重い髄膜炎を予防するヒブワクチンの供給量が全国的に著しく不足しています。輸入・販売している製薬会社の担当の方の話では、会社としても輸入量の増加を目指しているとのことですが、製造元（フランスの会社）の生産量や、輸入後の厚生労働省の審査・承認などにどれくらいの期間を要するのか不明であり、販売量の増加のめどが立っていないのが実情のようです。

現在、少ないワクチンを全国の医療機関に公平に分配するため、病院には毎月10人分、診療所には毎月3人分を販売しているそうです。当院にも、先月は3人分のワクチンしか届きませんでした。

当院でヒブワクチンを申し込んでいる方は、3月末の時点でおよそ30名程度いらっしゃいます。ワクチンの供給が増えなければ、これから新たに申し込む方にワクチンが届くのは10カ月以上先という計算になります。日常の診療の際にヒブワクチンについてのご相談を受けることがありますが、このような事情を説明し、ほかの医療機関への問い合わせをお勧めしています。一刻も早く販売量が増えることを祈るばかりです。

なおヒブワクチンの予約（申し込み）には、接種対象のお子様の生年月日と名前（イニシャル）の記載が必要です。したがって、お生まれになってからでなければ申し込みができません。またこのワクチンはインフルエンザや水痘ワクチンと同様に「任意接種」ですので、医療機関によって接種料金に違いがあります。

当院の接種料金は、1回7,000円です。

③ 日本脳炎

各種の報道などによると、5月頃には新しい日本脳炎ワクチンの定期接種が再開されるかのようです。ただしその場合も具体的な内容（開始日程や接種対象者など）を決めるのは各市町村ですので我々医療機関としては新たな情報を待つしかありません。

皆様もそれぞれの市町村の広報誌などを注意深くお読みください。またご不明の点については市町村の保健センターへお問い合わせをお願いします。

④ 複数のワクチンの同時接種

ヒブワクチンの品不足は困ったものですが、今回の話題を通じて「複数のワクチンの同時接種」に関する認識が高まりつつあるように感じています。日本では「ワクチン接種は一つずつ」という習慣がありますが、実は昔から2～3種類のワクチンを同時に接種することは可能だったのです。（ちなみに諸外国では、同時接種するのが当たり前の国が多いようです。）当院では以前から同時接種を行っていましたが、急に海外渡航が決まった場合など、特殊な事情の時に実施することがほとんどでした。ところが最近は、ごく普通に2種類のワクチンを接種する方が増えてきています。

同時接種の良い点：赤ちゃんを連れて医療機関を受診する回数が減る。そのため病気をうつされる危険性が低くなるし、保護者の方負担が減る。

同時接種の悪い点：医療機関側としては多少手間がかかる。接種後に、万が一不都合な出来事が起きた時の対応に悩むかもしれないこと。（現実的にはこんなことは皆無だと思えます。）お子様にとって悪いことはありません。針を刺される回数は同じです。



夜間や休日のお子様の急病には・・・

埼玉県小児救急電話相談（#8000） または

子どもの救急（日本小児科学会ホームページ）

をご利用ください

こどもクリニックニュースの無料郵送サービスをしています！

郵送をご希望の方は、受付でお申し込み下さい

携帯用ホームページ

